

歯科医師・歯科衛生士のための

フッ化物 洗口事業 研修会

県下一丸となり **フッ化物洗口**で子供たちの
むし歯ゼロを目指しましょう！！

5月30日(土) 15:00~16:30

場 所:大分県歯科医師会館

対象者:歯科医師、歯科衛生士、行政関係者等

講演

フッ化物洗口の現状チェックと
最近の国際的なフッ化物利用事情

講師:筒井昭仁先生
NPO法人ウェルビーイング理事
同 附属研究所主席研究員

小児、児童のフッ化物洗口実施は、健康・体力の面で“「生きる力」を育む”必須要素です。今回は現在アメリカで話題となっているFDAによる子供向けフッ化物入りサプリメントの市場からの撤去・使用制限措置の現状について、筒井講師より詳しい状況についてのご講演をいただきます。

幼稚園、学校におけるフッ化物洗口の位置づけ、在り方を整理し、各地域でのフッ化物洗口実施率の向上～むし歯本数の減少を目指しましょう。

参加には事前登録が必要です。【5/22(金)締切】

参加を希望される方は右のQRコードをスマートフォン等のカメラで読み取るか、裏面用紙にてFAXにてお申込み下さい。

ご不明な点は下記の県歯事務局までお問い合わせ下さい。



お申込み
お問合せ

大分県歯科医師会事務局

TEL 097-545-3151 FAX 097-545-3155

令和8年度フッ化物洗口事業研修会

演題：「フッ化物洗口の現状チェックと最近の国際的なフッ化物利用事情」

抄録

今回は、上記テーマで話をさせていただきます。

わが国では、フッ化物洗口実施の効果は古くから研究され、現状のむし歯を半分以上に減少させる効果が明らかにされています。フッ化物洗口は全国的な広がりを見せ、大分県では2018年には小学校の81.4%でフッ化物洗口実施中となっており、12歳児の一人平均むし歯本数も2025年には0.6本へと減少し、大きな効果を発揮しています。

フッ化物洗口は学校保健管理の一環として実施されており、小学校では一般的に、希望しない児童以外の全員がフッ化物濃度900ppmの洗口液10mLで、毎週一回1分間のブクブクうがいをするとなっています。1年は約52週あります。フッ化物洗口の年間実施回数は夏休み等の長期の休みを除くと約40回の実施回数となります。

全国的にコロナ禍（2020～2023年）でフッ化物洗口実施を中断する学校が増えました。そしてコロナ禍以降再開するも、フッ化物洗口参加者率の低下や、年間実施回数の減少が各地で見られ、むし歯の減少効果にも陰りがみられる地域が散見されます。

この影響はすぐには表面化しません。数年後には12歳児のむし歯増、さらに数10年後には成人、高齢者のむし歯増となって現れてきます。

フッ化物洗口は学校保健管理の一環として実施されています。ちょうど春の学校歯科検診の時期です。フッ化物洗口があなた（学校歯科医）のフッ化物洗口実施指示書にもとづいて実施されているか否か、検診終了時に校長、養護教諭に昨年度のフッ化物洗口実施状況（参加率、実施回数等）を確認しましょう。

さて最近の歯科保健事情です。日本の小児のむし歯は減ったと囁かれています。むし歯にケリはついたのでしょか？ 答えは「否」です。むし歯の増加の先送りが起こっているだけです。厚生労働省の歯科疾患実態調査報告でも、児童のむし歯り患は減少し、中学生も減少傾向にあります。高校生以降、急カーブで増加する様子がみられています。また、成人・高齢者のむし歯増も目立ってきました。

フッ化物洗口には主要な2つのメカニズムがあります。①脱灰に対して歯の自己修復を促進する効果。これはフッ化物洗口実施中にむし歯発生が減少する即時効果として現れます。さらに②4歳から中学卒業時までのフッ化物洗口実施は、全ての永久歯の萌出直後のエナメル質成熟時にフッ化物が酸の侵襲に抵抗する歯質強化を付与することがわかっています。フッ化物洗口の実施は将来のむし歯予防にも繋がっています。

海外では、特に米国のトランプ政権下でフロリダ州でフロリダ州反対の動きがありましたが、いつものように沈静化に向かいつつあります。問題は科学的根拠を蔑ろにするケネディーJr.の厚生福祉長官就任にあります。高濃度のフッ化物を含む地域でIQの低下が認められるといった調査方法の怪しい研究が数件重なり、これに飛びついたケネディーJr.が、フッ化物利用を制限し始めましたのです。しかし、上記調査はむし歯予防のフッ化物濃度をはるかに超える天然フッ化物地域の調査データであったり、さらにIQ低下に関係することが確認されている飲料水中の鉛やヒ素の情報が不明のままであったりするなど杜撰な解析に基づいたものでした。正規にフロリダ州実施地区と未実施地区でのIQ比較研究も行われ、フロリダ州実施地区の高校生のIQが高いという結果も出て、IQ低下はほぼ否定されています。旧来のガン、染色体異常などの反対論と同じく不完全な調査に基づいて反対してきた歴史の繰り返しです。

筒井 昭仁 先生

所属・役職 NPO 法人ウェルビーイング理事、同附属研究所主席研究員
NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会常務理事・フロリデーション推進委員会委員長
市原市フッ化物洗口推進研究会委員

学歴・職歴

1974 年 九州歯科大学卒業
1974 年 新潟大学歯学部予防歯科学講座・助手
1986 年 歯学博士（新大歯博第 54 号 新潟大学）
1987 年 新潟大学歯学部予防歯科学講座・講師
1988 年 福岡歯科大学予防歯科学講座・助教授
1997 年 米国国立健康研究所(NIH)・歯学研究所(NIDR)研究員
1998 年 カナダ・ブリティッシュコロンビア大学ヘルスプロモーション研究所(IHPR)研究員
2009 年 北海道議会参考人（歯科保健条例策定）
2009 年 山梨県議会参考人（歯科保健条例策定）
2012 年 NPO 法人ウェルビーイング代表（2014 年まで）
2014 年 中津市フッ化物洗口事業検討委員会委員（2022 年まで）
2013 年 福岡歯科大学口腔保健学講座・教授
2015 年 福岡歯科大学定年退職
2023 年 NPO 法人日本フッ化物むし歯予防協会フロリデーション普及委員会委員長
市原市フッ化物洗口推進研究会委員

主な研究歴

- ・フッ化物洗口
- ・水道水フロリデーション
- ・地域歯科保健
- ・学校歯科保健
- ・産業歯科保健
- ・ヘルスプロモーション
- ・健康教育

FAX 097-545-3155

フッ化物洗口事業研修会

お問合せ・お申込み先

一般社団法人 大分県歯科医師会

〒870-0819 大分市王子新町 6-1

TEL:097-545-3151

参加申込書

氏 名

住 所

所 属

連絡先 TEL ()

■ 同伴者(名)

氏 名 所属

氏 名 所属

氏 名 所属

※お申し込み締切5月22日(金)